

日本知能情報ファジィ学会第 27 回総会議事録

日時：2016 年 6 月 11 日(土)13:00-14:00

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 第 4 校舎独立館 2 階 D202 教室

出席者：24 名（開始時 23 名、途中参加があり最終的に 24 名）

記録者：中川副会長

1. 開会の辞（萩原会長）

定款第 17 条により議長を第 14 期会長萩原将文とし、日本知能情報ファジィ学会第 27 回総会は、定刻通りに開始した。議事に先立ち、萩原会長より、開会に際しての挨拶に続き、熊本大地震のお見舞いと 8 月に予定していた FSS2016 の東海大学熊本キャンパスでの開催を見送り、佐賀大学での開催についての説明があった。

2. 本総会での決議方法について（萩原会長）

総会に先立ち、総会での決議方法について、「決議内容に対し、承認、または異議に関して挙手数を計数することにより、多数決にて決議する。」という提案をした。異議のある場合は挙手することとして諮ったところ、挙手数は 0 で、挙手で決議をとることが満場一致で承認された。

3. 定款ならびに規程の改定について（堀口事業担当理事）

3.1. 定款第 13 条ならびに第 22 条の改定

定款第 13 条の改定について、次のように説明があった。

【現行】

第 13 条 会長、副会長、理事は理事会を組織し、総会の権限事項以外の事項を決議し、執行する。

- 2 副会長は、必要に応じて、理事会に監事・研究グループ長・委員会委員長を招聘し、意見を求めることができる。

【改定案】 研究グループ長を支部長と研究部会代表幹事に

第 13 条 会長、副会長、理事は理事会を組織し、総会の権限事項以外の事項を決議し、執行する。

- 2 副会長は、必要に応じて、理事会に監事・支部長・研究部会代表幹事・委員会委員長を招聘し、意見を求めることができる。

また、第 22 条の改定について、次のように説明があった。

【現行】

(研究グループ)

第 22 条 学会に、研究グループを置く。

- 2 研究グループは、同じ研究分野やテーマを指向する複数名、または地域的な活動のための利便性が高く技術的交流が容易な複数名で構成される事を基本とする。
- 3 研究グループには責任者として代表を置く。その名称は支部長、代表幹事など社会通念上適切であれば自由に名乗ることができる。

【改定案】 研究グループを地域支部と研究部会に

(支部等)

第 22 条 学会に、地域支部および研究部会を置く。

- 2 地域支部には支部長を、研究部会には代表幹事を置く。

上記の改定内容について諮ったところ、23 名の挙手によって満場一致で承認された。

3.2. 支部規程，研究部会規程，特別会員規程の改定

支部規程について、次のとおり改定がなされたことの報告があった（第 211 回理事会決議事項）。

【改定前】

(附則)

1. 本規程は2015年6月21日から施行する。
2. 本規程の改正は理事会の承認を得るものとする。

【改定後】 規程改廃を附則ではなく条項に

(改廃)

第14条 本規程の改廃は理事会の承認を得るものとする。

研究会規程について、次のとおり改定がなされたことの報告があった（第211回理事会決議事項）。

【改定前】

(附則)

1. 本規程は2015年6月21日から施行する。
2. 本規程の改正は理事会の承認を得るものとする。

【改定後】 規程改廃を附則ではなく条項に

(改廃)

第9条 本規程の改廃は理事会の承認を得るものとする。

名誉会員規程について、次のとおり改定がなされたことの報告があった（第215回理事会決議事項）。

【改定前】

第4条 名誉会員は本人の申し出により、会費および主催学術講演会（年次大会）参加費の免除を受けることができる。

【改定後】 名誉会員の特典として論文掲載料の減免を追加

第4条 名誉会員は本人の申し出により、会費および主催学術講演会（年次大会）参加費の免除、および論文掲載料の減免を受けることができる。

4. 平成 27 年度報告

4.1. 平成 27 年度事業報告（堀口事業担当理事）

堀口事業担当理事より事業報告に関する説明がなされた。

4.2. 平成 27 年度事業報告に対する監査報告（徳丸事業担当監事）

徳丸事業担当監事により事業監査報告に関する説明がなされた。

4.3. 平成 27 年度決算報告（金久保会計担当監事）

金久保会計担当理事より決算報告に関する説明がなされた。

4.4. 平成 27 年度決算報告に対する監査報告（井上会計担当監事）

井上会計担当監事より会計監査報告に関する説明がなされた。

上記の事業報告および決算報告について諮ったところ、23 名の挙手によって満場一致で承認された。

5. 平成 28 年度計画

5.1. 平成 28 年度事業計画（堀口事業担当理事）

堀口事業担当理事より事業計画に関する説明がなされた。

5.2. 平成 28 年度予算案（金久保会計担当理事）

金久保会計担当理事より予算案に関する説明がなされた。

上記の事業計画および予算案の説明に対して下記のような質疑があった。

1. 【質問】 SCIS&ISIS 2016 を今年開催し、来年も IFSA-SCIS 2017 を開催する。再来年はどうするか？
➡ （堀口事業担当理事） SCIS を 3 年連続で開催する予定である。某支部に打診しており、現在回答待ちの状況である。
2. 【質問】 WEB システム刷新の計画を実行に移すことも重要だが、日頃の WEB の管理が気になっている。トップページの新着イベントの欄に何年も前の行事が掲載されていたり、更新情報に 2015 年のものがあつたりする。今でもできることはたくさんあるのではないか。たとえば、情報発信の手段として RSS、FB、Twitter 等を活用することもできる。もっと人員を増やすなどして、活発に広報を

やっていただきたい。会員減少への対策にもなるので、がんばっていただきたい。理事会の議事録も1月が最後。学会がどう活動しているのかを内外の者が知る手段なので、できるだけ情報提供してほしい。

➡ (三河広報担当理事) 学会ホームページについてご指摘いただいた問題の数々に対してお詫び申し上げます。現行のシステムは非常に複雑で、中のスクリプトが誰も手をつけられない状態になっている。下手にいじると、ページ全体が崩れてしまうなど、大変なことになる。早急に対処しないといけないと思いつつ、1年が経過してしまった。

3. 【質問】 CMS を使用せずに、html で直接コーディングする方式に変えてしまえばよいのでは。これならすぐにでもできるはず。

➡ (三河広報担当理事) 早急に検討する。

4. 【質問】 WEB は学会の顔。活発に情報が発信されていなければ、多くの方々、特に若い方はこの学会に興味を抱かないはず。ホームページは特に大事だと思う。早急に対応してほしい。

➡ (萩原会長) 理事会でもホームページは大事だという話はずっと出ている。今期の理事会も後期にも入るので、WEB の問題は頑張って解決したい。

➡ (星野電子化検討担当理事) 現行のシステムは非常に複雑で、知っている人しか触れない。そのため、このシステムの維持に極力労力を割かずに、新しいシステムに移行したい。FSS の論文投稿システムの刷新も同時に進めているので、ご容赦いただきたい。

5. 【質問】 査読期間を短くすることに関連して、学会誌の論文誌が電子化されるときに、会費や論文掲載料が安くなるのかなという期待があったが、何もなかった。論文掲載料が安くなると投稿数を増やせる可能性があるかどうか？

➡ (萩原会長) 電子化しても、編集費等のためにあまり支出は変わらない。意外と費用がかかる。

➡ (川本会誌担当理事) 他学会と比較し検討したが、本学会の論文掲載料は割高ではなく平均的な価格という状況だった。実際の編集印刷にかかるコストは掲載料の収入合計とトントンくらい。戦略的に掲載料を安くして投稿数増加を促すこともありだと思うが、論文の電子化で削減できた

印刷費は若干程度である。戦略としてそのようなことを試みるかどうかについては、今後、理事会で検討していく。

6. 【質問】 前期理事会に対して論文掲載料について強烈的なクレームがあった。それは、Word ファイルで投稿されたものをそのまま綴じたような論文誌との比較だったが。コストがあまり変わらないのであれば、電子版はそのまま残して、紙媒体の論文誌を復活させてはどうか？

➡ (川本会誌担当理事) 紙媒体復活のコストは検討したが、100 万以上支出が増えるので断念した。

7. 【質問】 電子化する前は、読者数等、評判はどうだったのか。

➡ (萩原会長) 紙媒体のほうが見る人は多いというのはたしか。

8. 【意見】 電子化したけれど、紙媒体に戻したほうがいい。

9. 【意見】 紙媒体に戻さずに、逆に学会誌を全部電子化したほうがいい。タブレットで読めばよい。保管に困らないし、郵送代が削減できる。いきなり全部電子化するのは難しいだろうし、紙媒体があるだけで経費かかると思われるので、とりあえず現状維持でよいのでは。

10. 【質問】 スタイルファイルを提供しないのか？

➡ (川本会誌担当理事) すでに作成済。近々公開する予定である。来年の巻から全面的に採用する計画である。

上記の質疑応答の後、事業計画と予算案について諮ったところ、24 名の挙手によって満場一致で承認された(質疑応答の途中で総会出席者が 1 名増えた)。

以上